



まちづくり団体の取り組み
～こんなことやってます～

地域の活性化に向けた“やすらぎの里”づくり
「蚕飼地区まちづくり委員会」(千代川村)

やすらぎの里づくりって何

やすらぎの里って、どこ？

県の西部、鬼怒川と小貝川が流れる千代川村(H 1 8 . 1 . 1 隣の下妻市に編入合併)。その東部に位置する、蚕飼(こかい)地区。稲作を中心とし、紫峰「筑波山」を望む、のどかな田園地帯です。

地区には南北軸として国道294号、東西軸として主要地方道つくば古河線がとおり、小貝川に架かる「愛国橋」を渡ればつくば市であり、また、平成17年8月に開通した「つくばエクスプレス」を利用すれば秋葉原まで約1時間と、交通環境にも恵まれた地域です。



蚕飼地区から筑波山を望む

少子化問題

蚕飼地区には、村立蚕飼小学校(合併後は下妻市立蚕飼小学校)がありますが、平成17年12月1日現在の児童数は60名と、他の地域と同様、少子化の傾向にあります。

児童数が少ないだけに授業においても隅々まで目が行き届くと、保護者からも好評ですが、反面、競争心が芽生えにくいなどの意見もあります。



蚕飼小学校

交流できる場所や施設が欲しい

蚕飼地区には、皆が集まって地域のことを話したり、活動したりする場所がありません。公共施設も小学校のみなので、多くの方々に「やすらぎの里」に目を向けてもらうために、人々が集まれる場所が欲しい。農村地帯だからほとんどが農地で、新たな住宅地もない。公営住宅のような住宅整備も必要。住民懇談会の席上でもそんな意見が多々ありました。

まちづくり、始動！

地区の課題として挙げられる人口・児童数等の減少、地域の活力低下などの問題から、平成12年から進めてきた村地域住民との懇談会などを経て、平成15年度に「蚕飼地区まちづくり懇談会」「蚕飼地区まちづくり委員会」が組織され、蚕飼地区を「やすらぎの里」として本格的に村と地域による協働のまちづくりを進めていくことになりました。

「蚕飼地区まちづくり委員会」

「蚕飼地区まちづくり委員会」は地域住民の中から選出された37名の委員により設立し、平成15年11月から毎月1回、蚕飼地区のまちづくりについて、地域の課題等の洗い出し、活性化に向けた方策等の検討を始めました。

平成17年度から、自分たちでテーマを設定し、実行するため、「環境・景観」「企画推進」「広報」の3部会に分かれて、それぞれの部会が連携しながら、まちづくりを進めるスタイルになりました。



環境景観部会



企画推進部会



広報部会

現在では、月1回の会議では時間が足りず、月2回ほどのペースで実施しています。

コスモス納涼祭

やすらぎの里公園用地は、約33,000㎡。平成16年春に、村が地権者と賃貸借契約を結びましたが、せっかく今まで田畑として手入れをしていたところが荒れてしまうのは忍びないと、我々が中心となり、平成16年5月に、児童や高齢者を含む地域の方々に、約20,000㎡にコスモスの種をまきました。

7月下旬から花が咲き始め、国県道を通る多くの方々の目を楽しませ、車を停めて花を眺めたり写真を撮ったりと、一足先に癒しの空間となりました。

ただ花を咲かせたのではもったいないと、8月に「コスモス納涼祭」を行いました。色とりどりのコスモスが咲き乱れる中、地域のおはやしや模擬店などを行い、蚕飼地区はもとより他の地域からも多くの方々に来ていただき、素晴らしい交流ができました。

ごみゼロ運動

たくさんの人にここに来て欲しい。ここに住んで欲しい。それには、自分たちが自ら蚕飼地区のイメージアップを図ろうと話し合った結果、きれいな蚕飼地区をつくろうと、ごみゼロ運動を実施することになりました。

まずは、環境・景観部会をはじめとするまちづくり委員会で、身近なところから始めました。県の「ご近所の底力再生事業」の助成金をいただき、のぼり旗を作成し、交差点や学校付近に立てました。のぼり旗の効果が出たのか、最近のごみの量も多少減ったように思います。

フラワーラインづくり

国道294号の4車線化用地の一部を県から借りて、「やすらぎの里フラワーライン」として、4車線化工事が始まるまでの間、花を育てています。平成16年度は、コスモスの種をまきましたが、猛暑の影響でうまく育ちませんでした。

その後、ケイトウ、金魚草、パンジーといろいろな花にチャレンジしています。



パンジーの定植

ホームページとチラシの作成

千代川村では、平成15年度に策定した「やすらぎの里づくり構想」に基づき、蚕飼地区をやすらぎの里と位置づけ、平成17年4月、「都市再生整備計画」(蚕飼地区)を策定しました。これには、交流拠点となる公園、交通環境を向上させる道路整備、何より、定住者を誘致するための住宅施策、また、ソフト事業として民間賃貸住宅への家賃助成事業などが盛り込まれ、平成21年度までの5年間で、目標となる活性化への指標を目指すのだそうです。

このソフト事業には、「まちづくり活動推進事業」というものがあり、我が「まちづくり委員会」が行う、「やすらぎの里」の情報提供活動もその一つとなっており、ホームページを立ち上げ、また、PRチラシなどを作成して配布し、地域住民の目線でやすらぎの里の情報を発信していきたいと思えます。 <http://www.kokaichiku.jp>

市町村合併により千代川村が下妻市に変わっても、行政が行うべきもの、我々地域住民が行うべきもの、ともに手を携え、目標に向かって進んでいきます。

まちづくりは、誰のもの？、誰のため？。交流が地域に賑わいを呼び、人を育み、そしてまた新たな交流が生まれる。そんな素晴らしい連鎖を期待しつつ。

